

日本透析医会通常総会資料および主な決定事項

日本透析医会通常総会が平成 11 年 5 月 16 日（日）午後 2 時から（社）日本透析医会会議室にて開催された。以下に、その際の資料（抜粋）と主な決定事項を報告する。

（社）日本透析医会通常総会資料

- I 平成 10 年度事業報告書
- II 平成 10 年度収支決算書
- III 平成 11 年度事業計画書（案）
- IV 平成 11 年度予算（案）

平成 11 年度通常総会での主な決定事項

（社）日本透析医会役員名簿

(社) 日本透析医会通常総会資料

I 平成 10 年度事業報告書

1 会 議

1) 総 会

平成 10 年度通常総会 平成 10 年 5 月 17 日

第 1 号議案 平成 9 年度事業報告及び収支決算の承認を求める件

第 2 号議案 平成 10 年度事業計画及び予算の承認を求める件

第 3 号議案 その他

2) 理事会

●平成 10 年 5 月 17 日

協議事項

(1) 平成 10 年度通常総会提出議案について

第 1 号議案 平成 9 年度事業報告及び収支決算の承認を求める件

第 2 号議案 平成 10 年度事業計画及び予算の承認を求める件

第 3 号議案 その他

① 公益法人会計基準の変更について

② 基本財産の運用について

(2) その他

報告事項

(1) 会員の入・退会者について

(2) その他

3) 常務理事会

●平成 10 年 4 月 25 日 (臨時)

協議事項

(1) 平成 10 年度通常総会の開催について

① 平成 9 年度事業報告及び収支決算について

② 平成 10 年度事業計画及び予算について

③ その他

(2) 保険診療マニュアル (Kt/V, PCR の測定法) について

(3) 委員会委員の増員について (腎不全予防医学調査研究委員会)

- (4) 災害時救急透析医療システム施設登録について
- (5) 医会の組織強化について
- (6) その他

報告事項

- (1) 中央社会保険医療協議会（平成9年度）における審議経過について
- (2) 再使用調査検討会の開催について（工臓協との検討会）
- (3) 会費納入状況について
- (4) 会員の入・退会者について
- (5) その他

●平成10年5月17日

協議事項

- (1) 平成10年度通常総会の開催について
 - ① 平成9年度事業報告及び収支決算について
 - ② 平成10年度事業計画及び予算について
 - ③ その他
 - 1) 公益法人会計基準の変更について
 - 2) 基本財産の運用について
- (2) その他

報告事項

- (1) 会員の入・退会者について
- (2) その他

●平成10年7月18日

協議事項

- (1) 透析医療費の分析調査について（平成10年6月分のレセプト分析）
- (2) 倫理委員会の設置について
- (3) 透析施設基準検討委員会の設置について
- (4) インターネットの設置について
- (5) 介護保険における透析医療に関する説明会の開催について（拡大理事会及び適正透析普及委員会の共同開催）

日 時 平成10年7月18日（土）午後3時～午後5時

場 所 ホテルニュー神田 1階会議室

講 師 厚生省老人保健福祉局介護保険制度施行準備室室長補佐 三浦公嗣

- (6) DRG関連の内外透析医療比較について（工臓協との協同作業）
- (7) 各国（日・米・欧）透析医療費の比較調査について
- (8) その他

報告事項

- (1) 透析患者解雇裁判についての報告について（全腎協からの報告）

- (2) 平成9年度事業報告書等厚生省提出について
- (3) 会費納入状況について
- (4) 会員の入・退会者について
- (5) その他

●平成10年9月12日

協議事項

- (1) 平成10年度腎移植推進月間の主催及び第13回腎移植推進国民大会の後援依頼について（厚生事務次官）
- (2) 腎不全対策推進功労者厚生大臣感謝状贈呈候補者の推薦について（厚生省）
- (3) 平成10年度腎移植推進月間及び第13回腎移植推進国民大会の実施について（厚生事務次官）
- (4) SRI調査費用について
- (5) 平成10年度「シンポジウム」の開催について
- (6) 財政的支援の依頼について（(社)日本臓器移植ネットワーク）
- (7) 全腎協主催シンポジウムの後援名義使用の依頼について
- (8) 学会助成の依頼について
- (9) その他

報告事項

- (1) 集中豪雨による水害見舞について
- (2) 会費納入状況について
- (3) 会員の入・退会者について
- (4) 委員会報告
 - ① 広報委員会
 - ② 透析施設基準検討委員会
 - ③ 工臓協との話し合い
 - ④ 研修委員会
- (5) その他

●平成10年11月14日

協議事項

- (1) 透析医療費の実態調査結果について（平成10年6月分外来透析レセプト集計結果）
- (2) (社)日本透析医会「シンポジウム」の開催について
- (3) 学会（第19回日本アフレスニス学会，第10回日本急性血液浄化学会及び第2回弥彦Podocyteセミナー）の助成について
- (4) 日本臨床工学技士の社団法人設立に関する推薦状の依頼について
- (5) 平成10年度「研修セミナー」の開催について

日 時 平成11年3月6日（土）午後1時～午後5時

場 所 津田ホール

テーマ 介護保険と透析医療

- (6) 全腎協主催「講演会」の後援名義使用許可の依頼について
- (7) その他

報告事項

- (1) コンピュータ西暦 2000 年問題に係る点検表の作成についての依頼（厚生省保健医療局エイズ疾病対策課）
- (2) 会費納入状況について
- (3) 会員の入・退会者について
- (4) 委員会報告
 - ① 透析施設基準検討委員会
 - ② 工臓協との話合い
 - ③ 合併症対策委員会
- (5) その他

●平成 11 年 1 月 16 日

協議事項

- (1) 拡大理事会及び適正透析普及委員会（支部長会）の開催について
 - ① 透析医療費の実態調査結果について（平成 10 年 6 月分外来透析レセプト集計結果）
 - ② 介護保険における透析医療について
 - ③ ダイアライザーについて
 - ④ その他
- (2) 平成 10 年度「研修セミナー」の開催について

日 時 平成 11 年 3 月 6 日（土）午後 1 時～午後 5 時

場 所 津田ホール

テーマ 介護保険と透析医療
- (3) 学会等（第 31 回日本消化器画像診断研究会及び第 14 回日本医工学治療学会学術大会）の助成について
- (4) 三多摩地域における東京都・三多摩腎疾患治療医会合同透析医療救護活動訓練について
- (5) （社）日本透析医学会全国規模学術集会について
- (6) その他

報告事項

- (1) 医薬品等安全性情報について（厚生省保健医療局エイズ疾病対策課）
- (2) 会費納入状況について
- (3) 会員の入・退会者について
- (4) 委員会報告
 - ① 腎不全予防医学調査研究委員会

② 広報委員会

③ 工臓協との話し合い

(5) その他

●平成 11 年 2 月 20 日（臨時）

協議事項

(1) 診療報酬体系の改革（医科）について

(2) 平成 10 年度日本透析医会研修セミナーの開催について（別添プログラム）

(3) 学会等の助成について（第 19 回日本アフェレシス学会，第 10 回日本急性血液浄化学会，第 2 回弥彦 Podocyte セミナー，第 31 回日本消化器画像診断研究会及び第 14 回日本医工学治療学会学術大会）

(4) 日本臨床工学技士会の社団法人設立に関する推薦状の依頼について

(5) その他

① 奥田健二先生の理事及び広報委員長の辞任願いについて

② 事務局長の交代について

報告事項

(1) 拡大理事会及び適正透析普及委員会（支部長会）の開催について

(2) 三多摩地域における東京都・三多摩腎疾患治療医合同透析医療救護活動訓練の開催について

(3) 委員会報告

① 広報委員会（12 月 26 日開催）

② 腎不全予防医学調査研究委員会（1 月 28 日開催）

(4) その他

●平成 11 年 3 月 20 日

協議事項

(1) 公益法人の事業及び財産状況の検査の実施について（厚生省保健医療局長通知）

(2) 平成 11 年度予算（案）について

(3) 全腎協平成 11 年度全国大会の後援名義使用の依頼について

(4) 学会等（第 37 回日本人工臓器学会大会）の助成について

(5) その他

報告事項

(1) 本会理事牧角仙丞先生の逝去について

(2) (社) 日本透析医会〔研修セミナー〕の開催について

(3) 会費納入状況について

(4) 会員の入・退会者について

(5) その他

2 平成 10 年度委員会開催状況

(平成 10 年 4 月 1 日～平成 11 年 3 月 31 日)

委 員 会	開 催 年 月 日	備 考
1. 適正透析療法委員会		
(1) 適正透析導入委員会		
(2) 維持透析療法委員会		
(3) 適正透析普及委員会	平成 10 年 07 月 18 日 平成 11 年 01 月 16 日	
(4) 透析医療経済委員会	平成 10 年 04 月 22 日 平成 10 年 05 月 02 日 平成 10 年 05 月 13 日 平成 10 年 06 月 07 日 平成 10 年 06 月 10 日 平成 10 年 07 月 08 日 平成 10 年 07 月 19 日 平成 10 年 08 月 12 日 平成 10 年 09 月 09 日 平成 10 年 09 月 24 日 平成 10 年 10 月 06 日 平成 10 年 10 月 14 日 平成 10 年 11 月 04 日 平成 10 年 11 月 25 日 平成 11 年 01 月 13 日 平成 11 年 03 月 10 日	レセプト レセプト 工臓協との話し合い レセプト 工臓協との話し合い 工臓協との話し合い レセプト ワーキング・工臓協 ワーキング・工臓協 レセプト レセプト ワーキング・工臓協 レセプト ワーキング・工臓協 工臓協との話し合い ワーキング・工臓協
(5) 医療廃棄物対策委員会		
(6) 在宅透析委員会	平成 10 年 04 月 25 日	
2. 災害時救急透析医療委員会		
3. 合併症対策委員会	平成 10 年 11 月 14 日	
4. 腎移植普及推進委員会		
5. 腎不全予防医学調査研究委員会	平成 10 年 11 月 17 日 平成 11 年 01 月 28 日	
6. 研修委員会	平成 10 年 08 月 20 日 平成 11 年 01 月 16 日	
7. 広報委員会	平成 10 年 07 月 18 日 平成 10 年 08 月 07 日 平成 10 年 09 月 12 日 平成 10 年 12 月 26 日	
8. 情報管理委員会		
9. 内規委員会		

3 平成 10 年度委員会報告

1) 適正透析療法委員会

(1) 適正透析導入委員会

透析導入者審査委員会設置支部（新潟・栃木・愛知）に助成した。

(2) 適正透析普及委員会（平成 10 年度 2 回理事会と共同開催）

① 介護保険における透析医療に関する説明会を開催した。

日 時：平成 10 年 7 月 18 日（土）午後 3 時～午後 5 時

場 所：ホテルニュー神田 1 階会議室

講 師：厚生省老人保健福祉局介護保険制度施行準備室室長補佐 三浦公嗣

② 透析医療費の実態調査結果について説明会を開催した。

日 時：平成 11 年 1 月 16 日（土）午後 2 時～午後 4 時

場 所：（社）日本透析医会事務局会議室（3 階）

議 題：透析医療費の実態調査結果について（平成 10 年 6 月分外来透析レセプト集計結果）

介護保険における透析医療について

ダイアライザーについて

(3) 透析医療経済委員会（平成 10 年度 16 回開催）

① 透析医療費の分析について検討を行い、平成 9 年 6 月分および平成 10 年 6 月分外来透析レセプト集計結果が報告された。（平成 11 年 4 月発行予定の日本透析医会雑誌に報告）

② DRG 関連の内外透析医療比較について、医会と工臓協の合同による欧米各国の透析事情調査が実施された。

③ 平成 10 年度新規事業として、透析施設基準検討委員会（W・G）が発足し、5 回にわたり討議された。今後も引続き検討し、作業を進めている。

(4) 在宅透析委員会（平成 10 年度 1 回開催）

在宅血液透析について、平成 9 年 3 月に「施設のための在宅血液透析教育・指導マニュアル」を発刊したが、今後引続き「施設のための在宅血液透析管理マニュアル」の刊行について検討した。

2) 合併症対策委員会（平成 10 年度 1 回開催）

平成 10 年度透析患者の合併症とその対策「感染症」の発刊等について検討した。

3) 腎移植普及推進委員会（平成 10 年度 1 回開催）

(1) 平成 10 年度腎普及推進月間及び第 13 回腎移植推進国民大会の助成を検討した。

(2) 同推進月間のポスター及び小冊子「献腎」、パンフレットを会員に配布した。

4) 腎不全予防医学調査研究委員会（平成 10 年度 2 回開催）

(1) 今後の調査・研究について検討した。

(2) 腎不全マニュアルの発刊について検討した。

5) 研修委員会（平成10年度2回開催）

(1) 学術研究に助成した。

① 広島県透析連絡協議会

研究課題：「ヒト腹膜中皮細胞におけるプロゲステロン・エストロゲンの発現に関する検討」

② 北海道透析医会

研究課題：「北海道における血液透析用ブラッド・アクセスの現況，問題点と将来への展望」

(2) 下記支部が開催した講習会・講演会に助成

支 部 名	会 場	開 催 年 月 日
青 森 県 透 析 医 会	十和田市民文化センター	平成10年6月7日
宮 城 県 透 析 医 会	斎藤報恩会館	平成10年12月6日
岐 阜 県 透 析 医 会	岐阜医師会館	平成10年11月8日
愛 知 県 透 析 医 会	東急ホテル	平成10年11月29日
大 阪 府 透 析 医 会	千里ライフサイエンスセンター	平成10年7月25日
岡 山 県 支 部	ホテル・ニューオカヤマ	平成10年7月4日
香 川 県 透 析 医 会	香川県社会福祉総合センター	平成10年7月12日
高 知 県 透 析 医 会	福祉交流プラザ	平成10年9月20日
佐 賀 県 透 析 医 会	アバンセホール	平成10年6月30日
熊本県透析施設連絡協議会	済生会熊本病院	平成10年6月14・28日

(3) (社) 日本透析医会シンポジウムを開催

——維持HDF（血液透析濾過）の考え方と使い方——

日 時：平成10年11月15日（日曜日）午前9時～午後3時

場 所：全共連ビル・本館大会議室

司 会：阿岸鉄三（東京女子医科大学）ほか2名

講演者：斎藤 明（東海大学医学部）ほか5名

出席者：150名

(4) (社) 日本透析医会研修セミナーを開催

——透析医療におけるCurrent Topics'99——

日 時：平成11年3月6日（土曜日）午後1時～午後5時

場 所：津田ホール

司 会：阿岸鉄三（東京女子医科大学）ほか2名

講演者：松本昭英（星優クリニック）ほか4名

出席者：200名

6) 広報委員会（平成10年度4回開催）

(1) 日本透析医会雑誌の企画・編集等について，上記4回にわたって，討議された。

(2) 医会雑誌 Vol.14 No.1 発刊

①日本透析医会創立10周年記念シンポジウム 21世紀への提言－長期生存とQOL， ②中高年

の腎不全を目的とした健康診断事後措置，管理体制などのシステム作りの試み，③腎不全医療の現況と導入時調査，④災害時における地域災害対策について

(3) 医会雑誌 Vol. 14 No. 2 発刊

①医会の現状と将来・その目指すもの，②透析医療の経営環境変化－米国の分析と日本の予測－，③，病床の総量規制と透析有床診療所について，④地域災害対策－東京都での対策，⑤在宅医療廃棄物の適正処理策に関する研究報告書，⑥至適透析と Quality of Life の向上，⑦在宅血液透析

以上を発刊し，全会員及び関係機関に送付した。

(4) 医会雑誌 Vol. 14 No. 3 発刊

①第 11 回（社）日本透析医会シンポジウム－維持 HDF（血液透析濾過）の考え方と使い方－，②日本版 DRG/PPS を巡る諸問題，③透析医療費実態調査概要報告，④透析の 30 年の歴史と我々に残された今後の問題，⑤各種 pH，各種グルコース濃度条件下におけるヒト腹膜中皮細胞の動態と凝固・線溶系バランスについて，⑥腎不全患者における画像診断のポイント，⑦透析アミロイドーシスと HLA

等について，平成 11 年 4 月中に発刊（予定）

II 平成 10 年度収支決算書

1) 収支計算書（平成 10 年 4 月 1 日から平成 11 年 3 月 31 日まで）

（単位：円）

科 目	平成 10 年(案)	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	71,000,000	72,762,000	1,762,000	
2. 入会金収入	200,000	540,000	340,000	
3. 寄付金収入				
助成協賛金	20,000,000	15,920,000	-4,080,000	
助成金	0	560,000	560,000	
寄付金	0	2,425,081	2,425,081	
寄付金収入合計	20,000,000	18,905,081	-1,094,919	
4. 受取利息収入	1,000,000	1,261,382	261,382	
5. 会場収入	0	503,000	503,000	
6. 雑収入		0	0	
当期収入合計 (A)	92,200,000	93,971,463	1,771,463	
前期繰越収支差額	43,000,000	43,882,601	882,601	
収入合計 (B)	135,200,000	137,854,064	2,654,064	
II 支出の部				
1. 事業費				
透析医療適正化事業費	13,145,000	8,645,025	-4,499,975	
地域透析医療システム事業費	16,308,000	10,945,988	-5,362,012	
腎移植普及推進事業費	9,043,000	7,445,060	-1,597,940	
腎不全予防医学調査研究費	1,059,000	149,782	-909,218	
研修等事業費	12,614,000	11,395,346	-1,218,654	
広報活動費	12,387,000	9,899,105	-2,487,895	
その他の事業	25,689,000	19,212,309	-6,476,691	
事業費合計	90,245,000	67,692,615	-22,552,385	
2. 管理費				
人件費	9,500,000	9,526,170	26,170	
家賃	5,500,000	4,987,957	-512,043	
その他経費	8,954,000	7,729,763	-1,224,237	
管理費合計	23,954,000	22,243,890	-1,710,110	
3. 固定資産取得支出	0	0	0	
什器備品購入支出	0	0	0	
固定資産取得支出合計	0	0	0	
		0	-5,000,000	
4. 予備費	5,000,000	0	0	
基本財産組入額	0	0		
当期支出合計 (C)	119,199,000	89,936,505	-29,262,495	
当期収支差額 (A)-(C)	-26,999,000	4,034,958	31,033,958	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	16,001,000	47,917,559	31,916,559	

2) 正味財産増減計算書（平成10年4月1日から平成11年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 資産増加額			
当期収支差額	4,034,958		
資産増加額		4,034,958	
2. 負債減少額			
退職給与引当金取崩額	1,000,000		
負債減少額		1,000,000	
増加の部の合計			5,034,958
II 減少の部			
1. 資産減少額			
建物附属設備減価償却額	8,858		
災害時システム設備減価償却額	59,740		
什器備品減価償却額	1,024,369		
資産減少額		1,092,967	
2. 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	109,000		
負債増加額		109,000	
減少の部の合計			1,201,967
当期正味財産増加額			3,832,991
前期繰越正味財産額			288,269,997
期末正味財産合計額			292,102,988

3) 貸借対照表(平成11年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	
I 増加の部		
1. 流動資産		
現金預金	48,213,588	
仮払金	35,945	
流動資産合計		48,249,533
2. 固定資産		
基本財産		
定期預金	232,000,000	
基本財産合計	232,000,000	
その他の固定資産		
建物附属設備	53,522	
災害時システム設備	127,534	
什器備品	2,091,001	
電話加入権	563,372	
淡路建物ビル保証金	11,300,000	
警備保証金	50,000	
その他の固定資産合計	14,185,429	
固定資産合計		246,185,429
資産合計		294,434,962
II 負債の部		
1. 流動負債		
会費預り金	6,000	
所得税預り金	199,938	
住民税預り金	46,000	
雇用保険預り金	80,036	
流動負債合計		331,974
2. 固定負債		
退職給与引当金	2,000,000	
固定負債合計		2,000,000
負債合計		2,331,794
III 正味財産の部		
正味財産		292,102,988
(うち基本金)		(232,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(3,832,991)
正味財産の部の合計		292,102,988
負債及び正味財産合計		294,434,962

4) 計算書類に対する注記

(1) 重要な会計方針

① 固定資産の減価償却について

有形固定資産については、定率法による減価償却を実施している。

② 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、及び仮払金、及び預り金を含めている。なお、当期末残高は、下記(3)に記載するとおりである。

(2) 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	232,000,000	0	0	232,000,000
合計（基本金）	232,000,000	0	0	232,000,000

(3) 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高
現金預金	48,213,588
仮 払 金	35,945
合 計	48,249,533
会費預り金	6,000
所得税預り金	199,938
住民税預り金	46,000
雇用保険預り金	80,036
合 計	331,974
次期繰越収支差額	47,917,559

(4) 有形固定資産の所得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	所得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	322,907	269,385	53,522
災害時システム	337,870	210,336	127,534
什器備品	6,420,614	4,329,613	2,091,001
合 計	7,081,391	4,809,334	2,272,057

5) 財産目録 (平成 11 年 3 月 31 日現在)

(単位 : 円)

科 目	金	額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	8,774		
郵便振替	611,839		
普通預金 東京三菱銀行神田支店	2,677,819		
住友銀行神田支店	326,059		
第一勧業銀行神田支店	84,307		
さくら銀行神田小川町支店	23,918		
あさひ銀行神田支店	525,906		
あさひ銀行神田支店	4,954,966		
定期預金 東京三菱銀行神田支店	39,000,000		
仮払金	35,945		
流動資産合計		48,249,533	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金 東京三菱銀行神田支店	232,000,000		
(2) その他の固定資産			
建物附属設備			
間仕切工事	53,522		
什器備品			
ゼロックスコピー機	385,747		
OASYS 70DP ワープロ	178,167		
会員プログラムソフト	676,337		
パワフル会計公益	129,193		
COMPAQ 一式	193,108		
会員プログラムソフト	528,449		
災害時システム設備			
IBM パソコン	127,534		
電話加入権	563,372		
保証金 淡路建物ビル保証金	11,300,000		
警備保証金	50,000		
その他の固定資産合計	14,185,429		
固定資産合計		246,185,429	
資産合計			294,434,962
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
年会費	6,000		
職員等に対する源泉所得税	199,938		
職員等に対する住民税	46,000		
職員等に対する雇用保険	80,036		
流動負債合計		331,974	
2. 固定負債			
退職給与引当金	2,000,000		
固定負債合計		2,000,000	
負債合計			2,331,974
正味財産			292,102,988

Ⅲ 平成 11 年度事業計画書（案）

事業計画の概要

1) 透析医療の適正化に関する調査・研究事業

適正透析療法委員会

適正療法の質的向上と普遍化を目的とする調査・研究

- (1) 適正透析導入委員会：適正な導入時期に関する調査研究
- (2) 維持透析療法委員会：適正な維持透析療法に関する調査研究
- (3) 適正透析普及委員会：同上の療法の普及推進を行う
- (4) 透析医療経済委員会：適正な透析医療経済に関する調査研究
 - ① レセプト分析
 - ② 再使用調査検討
 - ③ 各国透析医療費の比較調査
 - ④ 施設基準の検討
- (5) 医療廃棄物対策委員会：医療廃棄物対策に関する調査研究
- (6) 在宅透析委員会：在宅治療の（CAPD・家庭透析等）の適応基準の調査・研究
- (7) 医療制度委員会：医療制度における透析医療との関連に関する調査・研究

2) 会員の教育・指導及び倫理向上に関する調査・研究

倫理委員会

会員の倫理向上に関する調査・研究

3) 地域透析医療システムに関する調査・研究

透析施設間の相互連携による地域透析医療システムを確立するための調査・研究

- (1) 災害時に於ける救急透析医療システムの作成に関する調査・研究

災害時救急透析医療委員会

- ① 施設登録の調査，入力及び検証に関する事業
- ② ブロック別災害時救急透析医療システムの構築

4) 長期透析患者の合併症に対する調査研究

合併症対策委員会

- ① 透析導入の初発原因（原疾患・病因等）に関する調査・研究
- ② 患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究
- ③ 患者の長期生存に伴い発生する合併症及びその原因に対する調査・研究

5) 腎移植普及推進に関する事業

腎移植普及推進委員会

会員および患者に対しての協力・普及を目的とする。

- ① 腎移植推進月間・腎バンク及び地方腎移植推進システムへの協力事業
- ② 会員に対する腎移植の啓発・教育事業（脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等）

- ③ 患者に対する腎移植推進事業（会員の日常業務として，地区患者を対象とする推進事業）
 - ④ 関係団体への協力事業（医療施設や遺族に対するドネーションの啓発）
 - ⑤ 腎移植コーディネーター問題の研究
- 6) 腎不全予防医学の調査・研究事業
- 腎不全予防医学調査研究委員会
- 透析導入を予防し残腎機能を維持させるための事業
- ① 透析導入前の慢性腎不全患者に対する保存的維持療法の調査・研究事業
 - ② 関係団体への協力事業
- 7) 研修等事業
- 研修委員会
- ① 腎不全臨床医療スタッフの研修会の開催
 - ② 学術研究への協力
 - ③ 関係学会・団体との研究協力
 - ④ 国内講演会等の開催
- 8) 広報活動及び刊行物の発行に関する事業
- 広報委員会
- 機関誌等の発行
- ① 雑誌 1,500部（年4回発行）
 - ② 医会ニュース 1,200部
- 9) その他の事業
- 情報管理委員会
- 医会が行う各種のアンケート調査結果の管理運用

IV 平成 11 年度予算 (案)

[収入の部]

(単位：円)

区 分	平成 10 年度予算	平成 11 年度予算 (案)	増 減
1. 会費収入	71,000,000	72,000,000	1,000,000
2. 受取利息	1,000,000	300,000	- 700,000
3. 入会金収入	200,000	300,000	100,000
4. 前年度繰越金	43,000,000	42,000,000	- 1,000,000
5. 寄付金収入	20,000,000	64,500,000	44,500,000
6. 雑収入	0		
計	135,200,000	179,100,000	43,900,000

[支出の部]

(単位：円)

区 分	平成 10 年度予算	平成 11 年度予算 (案)	増 減
1. 事業費	90,245,000	141,084,000	50,839,000
2. 管理費	23,954,000	21,780,000	- 2,174,000
3. 予備費	5,000,000	2,000,000	- 3,000,000
4. 次年度繰越金	16,001,000	12,236,000	- 3,765,000
5. 固定資産取得支出	0	2,000,000	2,000,000
計	135,200,000	179,100,000	43,900,000

区 分	平成 10 年度予算	平成 11 年度予算 (案)	増 減
基本財産累計	232,000,000	232,000,000	0

支出の部内訳

(単位：円)

区 分	平成 10 年度予算	平成 11 年度予算 (案)	%	増 減
I. 事業費（調査研究事業費）	90,245,000	141,084,000	100.0%	50,839,000
(1) 透析医療の適正化	13,145,000	17,411,890		4,266,890
① 適正透析導入委員会	2,168,000	1,966,020	1.4%	-201,980
② 維持透析療法委員会	1,613,000	1,454,300	1.0%	-158,700
③ 適正透析普及委員会	2,858,000	2,577,740	1.8%	-280,260
④ 透析医療経済委員会	4,842,000	6,523,780	4.6%	1,681,780
⑤ 医療廃棄物対策委員会	1,109,000	1,008,010	0.7%	-100,990
⑥ 在宅透析委員会	555,000	511,720	0.4%	-43,280
⑦ 医療制度委員会	0	3,370,320	2.4%	3,370,320
(2) 地域透析医療システム	16,308,000	14,473,860		-1,834,140
① 災害時透析医療委員会	12,341,000	10,888,110	7.7%	-1,452,890
② 合併症委員会	3,967,000	3,585,750	2.5%	-381,250
(3) 腎移植普及推進委員会	9,043,000	8,194,940	5.8%	-848,060
(4) 腎不全予防医学の調査研究費	1,059,000	3,370,320	2.4%	2,311,320
(5) 研修等事業費	12,614,000	12,011,550	8.5%	-602,450
(6) 広報活動費	12,387,000	12,357,840	8.8%	-29,160
(7) その他の事業	25,689,000	73,263,600		47,574,600
① 情報管理委員会	857,000	792,580	0.6%	-64,420
② 内規委員会	40,000	40,000		0
③ 学会助成費	24,792,000	72,431,020	51.3%	47,639,020
II. 管理費	23,954,000	21,780,000		-2,174,000
(1) 人件費	9,500,000	9,580,000		80,000
(2) 家賃	5,500,000	3,250,000		-2,250,000
(3) その他の経費	8,954,000	8,950,000		-4,000
III. 予備費	5,000,000	2,000,000		-3,000,000
IV. 次年度繰越金	16,001,000	12,236,000		-3,765,000
V. 固定資産取得支出		2,000,000		2,000,000
計	135,200,000	179,100,000		43,900,000

平成 11 年度通常総会での主な決定事項

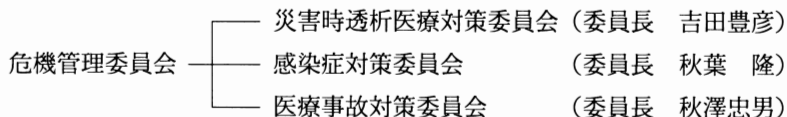
平成 11 年 5 月 16 日（日）午後 2 時から通常総会が、（社）日本透析医会・会議室で行われた。平成 10 年度の事業報告と収支決算が第 1 号議案として提出され承認された。平成 11 年度事業計画と予算は第 2 号議案で、また、新役員の承認および顧問の委嘱が第 3 号・4 号議案として審議され承認された。自由討論では、新役員案作成への経過報告を求める意見が述べられた。

今年度事業の内、新規・改定事業活動等について説明したい。

1) 危機管理委員会（委員長 吉田豊彦）の設置について

本事業は、総会直前の理事会において緊急提案されたものである。横浜市大病院の手術患者取り違い事件・点滴のミスによる医療事故・肺結核の院内感染等が報道される中で、透析医療においても対策を講じる場面も想定されるとの趣旨であった。

この提案を受けて理事会では、従来の災害時透析医療対策委員会に危機管理を被せ下記のごとく感染症や医療事故対策に対応する委員会の設置を行うことに決定した。



本委員会設置直後の 5 月末に、兵庫県下で劇症肝炎が多発し、本年 2 月から数えると 7 月末現在、7 名中 6 名が死亡する由々しき事態が発生した。秋葉委員長は 5 月 28 日（金）の夕刻に現地視察に急行し、支部の幹事会にも出席して現況把握を行い、5 月 31 日（月）午後には厚生省に当会本部の報告書を提出している。

また、医会支部は幹事会を緊急招集して感染対策委員会と調査改善委員会を設け、原因究明への協力活動と再発防止に万全な対策を積極的に講じた。人道的見地を最優先して対処された兵庫県透析医会に、尊敬と感謝を表したい。

2) 医療経済委員会（委員長 山崎親雄）の事業活動について

平成 12 年 3 月には医療費改定が予想される。委員会は、平成 11 年度の通算 3 回目当たる透析医療の実態調査を目的としたレセプト調査を行った。依頼した 132 施設のうち 94.7%に当たる 125 施設から 4,500 件以上の回答が寄せられ、現在分析作業を急いでいる。秋の医療費改定に際しての要望書提出に貴重な資料となる。

また、報道によると厚生省の来年度概算要求が 3.1%増加し、日本医師会でも 5%の医療費アップを目指している状況下という。当会でも会員の絶大な協力と期待を認識して、ものと技術、すなわち差益の技術料への適正評価に対して本委員会の提言を基に執行部が全力で当たっている。

3) 施設基準検討委員会（委員長 山崎親雄）の活動について

医療構造改革は、国民に質の担保が保障されてはじめて改革たりうる。本委員会は、透析施設

の自己評価を目的としたアンケート調査を実施して、透析医療の質の担保を確認する作業を行う。8月末に行われるアンケート調査は、施設の構造・実態に加えて粗死亡率・透析量・B型抗原・C型抗体の陽性率等の現状に回答していただき、将来的には、全会員からの結果を分析して標準化を行い、施設基準該当施設と非該当施設間では、保険請求に違いが生じる場合もあることを規定している。

4) 医療法等検討委員会（委員長 鈴木満）の活動について

第3次医療法改正では、有床診療所の病床規制が行われた。療養型病床が透析に占める意義をどのように考えるか、地域医療において透析医療の存在をどのように理解すべきなのか等を議論する。

介護保険では透析は除外されて医療に定義された。透析は医療保険と介護保険と2通のレセプトを作成することになる。送迎は介護保険のヘルパー業務に含まれるというが、実際はどうか、透析患者は介護サービスのどの分野を利用し、介護認定が患者の実像と見合っているか等の検討を行い、必要となれば提言する機能が求められる。

第4次医療法改正に向けて、透析の急性・慢性をどのように理解し主張すべきなのか、透析は専門医療として位置づけられるべきであり、急性・慢性の議論の枠外と主張するならば、なにをどう整理しておかねばならないか等の検討も必須と考える。

5) 当会の役員選出基準について

当会の役員を選出は、会長候補の推薦役員と地区選出役員とで構成されている。地区選出役員は会員数に比例しブロック別で推薦を受けている。地区推薦役員の人数は内規委員会で決定される。

また、当会の主管課である厚生省保健医療局エイズ疾病対策課より、去る3月に役員は部外者が望ましいとの指導があった。今回の役員構成が検討されたが、当会の役員が部外者では、目的とする事業活動が停滞する恐れがあると判断された。しかし、高宮監事の辞任に伴い従来の監事が1名となることから、定款による監事3名の内2名を部外者から選出することに決定した。第1段階の役員構成について主管課の了承を受け、新監事として岩月弁護士と伊原公認会計士を総会でご承認いただいた。

下記は、登記簿謄本に添付した総会議事録である。

（文責 鈴木満）

（社）日本透析医会 平成11年度通常総会議事録

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 1. 会議の種類 | 通常総会 |
| 1. 招集年月日 | 平成11年4月20日 |
| 1. 開催場所 | 社団法人 日本透析医会・会議室（千代田区神田須田町1-15-2） |
| 1. 開催日時 | 平成11年5月16日（日）午後2時 |
| 1. 会員総数 | 1,151名 |
| 1. 出席会員数 | 614名（内訳：本人出席 23名、委任状出席 591名） |

1. 議事の経過

定刻に至り事務局長から本日の通常総会は定足数を満たしたので、有効に成立した旨を告げた。初めに、平澤会長から挨拶があり続いて会長から議長の専任を諮ったところ、満場一致をもって今忠正氏を議長に専任し、続いて議長挨拶の後、議事録署名人の指名を諮ったところ、廣田紀昭氏と村上秀一氏とが満場一致で選任された。

続いて議案の審議に入った。

第1号議案 平成10年度事業報告及び収支決算の承認を求める件

山崎常務理事から事業報告について、1. 会議, 2. 委員会, 3. 会務報告の順に説明を行い、引き続き、鈴木専務理事から収支決算書について詳細に説明を行った。

続いて、平成10年度監査報告が大森伯監事からあり、採決の結果、満場一致原案どおり可決承認された。

第2号議案 平成11年度事業計画及び予算の承認を求める件

吉田常務理事から最初に事業計画の説明を行い、その他緊急提案として、災害時救急透析医療委員会に医療事故防止対策と感染予防対策を追加したい旨の説明を行い、続いて鈴木専務理事から予算について説明を行った後採決の結果、満場一致原案どおり可決承認された。

第3号議案 新役員の承認を求める件

鈴木専務理事から辞任された井上隆氏、奥田健二氏及び先日御他界された牧角仙丞氏の後任として、秋葉隆氏を常務理事に、秋澤忠男氏及び杉崎弘章氏、鈴木正司氏、小野山攻氏を新たに加え理事に選任したい旨の説明を行い、また、監事、高宮治生氏の後任として岩月史郎氏、伊原美好氏を監事に選任したい旨の説明を行い、任期満了に伴う新役員については、別紙役員名簿のとおり選任したい旨の説明を行った後、採決の結果、満場一致原案どおり可決承認された。

第4号議案 その他

1. 顧問の就任についての承認を求める件

1. について、鈴木専務理事から役員を辞任された井上隆氏、奥田健二氏、高宮治生氏を新たに顧問に選任したい旨の提案があり、採決の結果、満場一致可決承認された。

2. 自由討論が活発に行われた。

以上をもって通常総会の議案全部を終了したので議長閉会を宣して解散した。時刻は午後3時15分であった。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長並びに議事録署名人これに署名押印する。

平成11年5月16日 社団法人 日本透析医会通常総会に於いて

日本透析医学会役員名簿

役 職 名	氏 名	現 職
名 誉 会 長	稲 生 綱 政	医療法人大坪会 東和病院 院長
会 長	平 澤 由 平	社会福祉法人 信楽園病院 顧問
副 会 長	今 忠 正	札幌北クリニック 院長
〃	飯 田 喜 俊	淀川キリスト教病院 教育顧問
専 務 理 事	鈴 木 満	医療法人松圓会 理事長
常 務 理 事	吉 田 豊 彦	医療法人社団誠仁会 理事長
〃	山 崎 親 雄	医療法人衆済会 増子記念病院 院長
〃	秋 葉 隆	東京医科歯科大学 講師
理 事	太 田 和 夫	太田医学研究所 所長
	山 下 眞 臣	社会福祉法人 恩賜財団済生会 理事長
	小 出 桂 三	社会保険都南総合病院 院長
	石 丸 隆 治	財団法人日本公衆衛生協会 会長
	前 田 憲 志	名古屋大学医学部 教授
	藤 見 惺	福岡赤十字病院 副院長
	松 田 鈴 夫	国際医療福祉大学 教授
	秋 澤 忠 男	和歌山県立医科大学 血液浄化センター 教授
	(北海道) 廣 田 紀 昭	廣田委員 院長
	(東北) 関 野 宏	医療法人宏人会 理事長
	(東北) 村 上 秀 一	医療法人三良会 村上新町病院 院長
	(関東) 杉 崎 弘 章	府中腎クリニック 理事長
	(甲信越) 土 屋 隆	医療法人輝山会 理事長
	(甲信越) 鈴 木 正 司	社会福祉法人 信楽園病院 内科部長
	(中部) 指 出 昌 秀	医療法人一秀会 理事長
	(関西) 後 藤 武 男	高砂市民病院 院長
	(関西) 小 野 利 彦	医療法人桃仁会 理事長
	(関西) 小 野 山 攻	医療法人小野山診療所 理事長
	(中国) 土 谷 晋 一 郎	医療法人あかね会 理事長
	(中国) 高 杉 敬 久	博愛病院 院長
	(四国) 寺 尾 尚 民	医療法人尚腎会 理事長
	(九州) 後 藤 宏 一 郎	後藤クリニック 院長
	(九州) 工 藤 寛 昭	工藤医院 院長
監 事	(甲信越) 大 森 伯	大森内科医院 院長
〃	(関東) 岩 月 史 郎	弁護士
〃	(関東) 伊 原 美 好	公認会計士